

# 靈源寺

## 靈源寺沿革

この地域一帯は、古来、戦場ヶ原と称せられ、戦国時代はしばしば戦場となり、戦死や疫病による死者の遺体が散乱していたと伝えられています。

江戸時代初期、浄土宗の僧、林蒼靈源和尚はこの地帯を行脚され、遺体を集めて浄梵供養し、堂宇を建立され、その号を「諸宗山靈源寺」としました。

その後、本堂裏山において火葬が行われ、「茶毘寺」「火葬寺」「無縁寺」として伝承されてきましたが、大正の初期、その職務を東京博善株式会社に譲渡し、その地は現在の桐ヶ谷斎場となっています。

昭和元年、渡辺真海上人が住職となり、以降は法縁の新谷寛應上人、渡辺真澄上人が住職を継ぎ、昭和58年、渡辺真海上人の弟子にあたる太田隆賢上人が住職となりました。この時に、老朽化した本堂客殿が新築され、現在の姿となり、現住職の太田眞琴上人へと受け継がれています。

境内には、歴代上人の墳墓、ならびに無縁万靈供養塔があります。



本堂2階和室



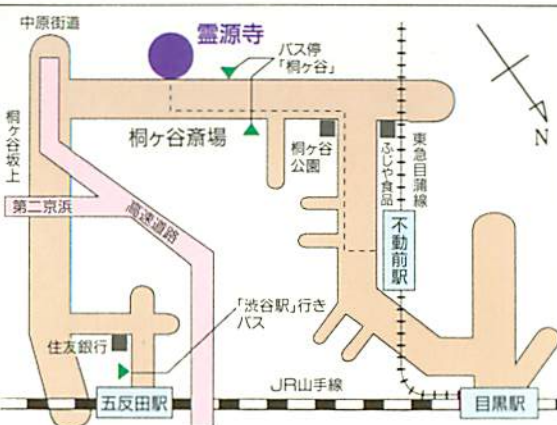
牡丹の間(30畳)



百合の間(12畳)



菊の間(8畳)



交通 ● JR五反田駅西口住友銀行前よりバス「渋谷駅」行きに乗車。3つ目のバス停「桐ヶ谷」下車。  
● 東急目蒲線「不動前」駅下車。徒歩10分。

## 東京大光山 靈源寺

住職 / 太田眞琴

〒142 東京都品川区荏原1-1-2

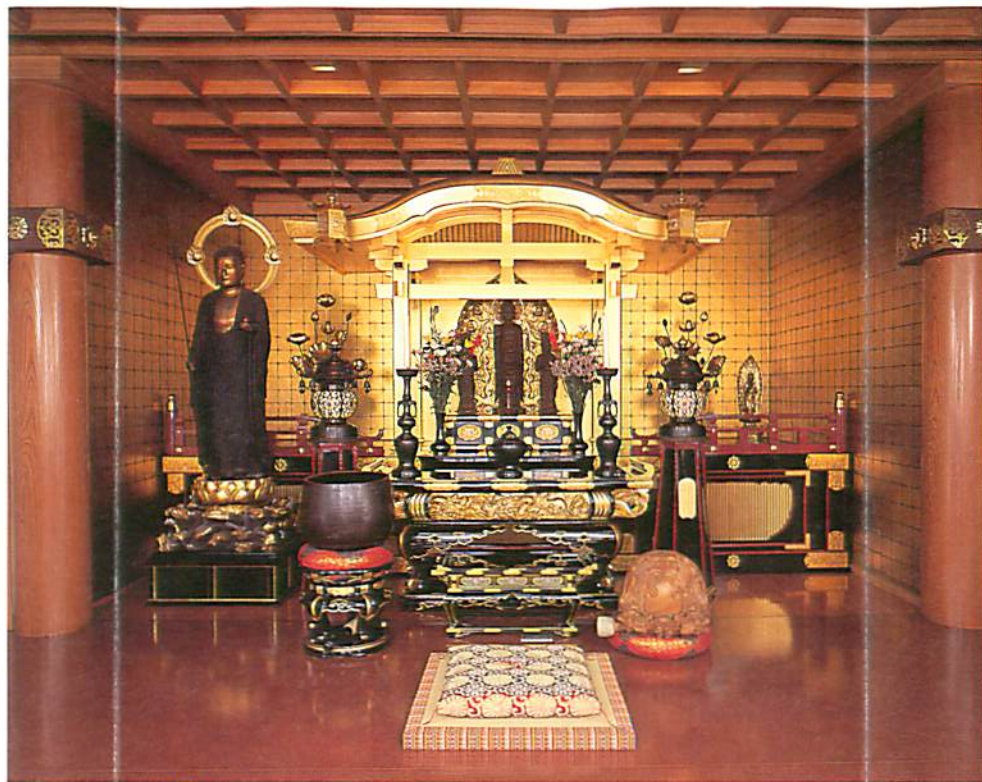
TEL03(3494)1083 FAX03(3494)6319

# 東京大光山 靈源寺





庫裡御内仏、阿弥陀如来坐像。  
500年前の作とされる木像。



霊源寺本堂荘厳。本尊は、観音菩薩像、阿弥陀如来像、勢至菩薩像の阿弥陀三尊像。



境内にある無縁万霊供養塔。  
現在は、第二次大戦後の混乱期の  
無縁仏を多くまつる。

本尊とともに本堂に安置されている地蔵尊。  
庫裡御内仏とともに、造像から500年を  
経ているとされる木像。



画/左上「牡丹図」、中央下「百合図」、右下「菊図」。  
本堂2階和室には海野阿育画伯によって描かれた、各室の名を題材にした絵がかけられています。

